

自動注射薬調剤機在庫管理システムの構築と評価

○梶田 貴司<sup>1</sup>, 黒田 典子<sup>1</sup>, 富井 佐知子<sup>1</sup>, 西川 豊<sup>1</sup>, 大鳥 徹<sup>2</sup>, 友金 幹視<sup>1</sup>,  
上田 睦明<sup>1</sup>, 中塚 英太郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>天理よろづ相談所病院薬, <sup>2</sup>近畿大薬)

【目的】天理よろづ相談所病院(当院)では、2006年1月よりオーダーリングシステムを導入した。それに伴い注射薬調剤業務において、リスク回避・効率等の目的のため、2007年10月より当院入院棟における注射薬調剤に自動注射薬調剤機(自動調剤機)を導入した。その際、自動調剤機内への薬剤の充填数を過去の使用実績を基に設定したが、注射薬は、使用頻度や数量に変動を認めるため、自動調剤機への注射薬の請求や補充等の在庫管理には多くの労力を要する。そこで本研究では、これらの業務の軽減を目的として、オーダーリングシステムにおける注射薬の事前処方情報を利用した自動調剤機内の注射薬の在庫管理システムの構築を試み、その効果について評価した。

【方法】在庫管理システム構築には、市販のデータベースソフトである File Maker Pro、事前オーダーリングシステム情報の書き出しには、MS EXCEL を使用した。また、システム導入効果は、システム導入前後で自動調剤機に補充する薬剤の請求と払出しに要する時間、臨時請求回数、自動調剤機内の在庫回転率を比較した。

【結果・考察】本システム導入前は、自動調剤機への注射薬の補充を1日3回(8:30、11:30、16:30)実施し、注射薬の請求と払出しには、それぞれ計23分、23分を要した。一方、システム稼働後では、自動調剤機内の数量と事前のオーダーリングシステムの注射薬の使用予測に基づき1日1回(8:30)とした結果、これらに要する時間は半減した。また、この間の自動調剤機内の在庫回転率は、17.6%上昇し、臨時の請求回数には変動を認めなかった。以上の結果から、今回我々の構築したシステムは、自動調剤機内の注射薬の在庫管理に有用であることが示された。